

# 日蓮宗 常栄山 本照寺だより

第113号

厚木市下古沢133  
TEL・046-247-1156  
FAX・046-247-1156  
振替・0230-7-35749  
(加入者名・本照寺)  
発行所 須藤教裕  
本照寺・須藤教裕  
携帯090-9151-6438  
honshou49@i.softbank.jp

## 滅罪修行リレー

12月30日午後1時から、身心を浄めて新しい年を迎えるため「滅罪修行リレー」を行いました。内容は①ヨガ、②水行、③



勢いよく冷水をかぶる参加者

唱題行の三本立てです。のべ43名の方に参加いただきました。今年水行で使う手桶を、境内の竹で自作しました。竹は清浄の象徴でもあり、本行事にふさわしい素材です。参加の方にも喜んでいただきました。ただ、持ち手の仕上げが甘く、竹の繊維で手を切ってしまった方がいたのは反省点です。来年はより安全に整えてまいります。また、毎年楽しみにしてくださる方も増え、「年齢制限を上げられませんか」という声がありました。安全面から再検討し、

次回は参加年齢を64歳まで上げる予定です。今後も安心して続けられる修行の場を整えていきたいと思えます。

## 除夜の鐘

大晦日、午後10時から除夜の鐘の行事を行いました。過去最多の330名ほどの方がお参りくださいました。参拝の方は、グループで焚き火を囲んで話し込んだり、本堂で一年の反省をしてそれをお焚

き上げしたり、写経をしたりして、それぞれの時間を過ごしていました。今年、特に印象に残ったのは、お参りの方の中に仏教やお寺に興味のある方の割合が多く感じられたことでしょうか。除夜の鐘、開始直後の祈願法要にも、年の変わり目の法話にも例年より多くの参列者がありました。改めて、教を継続的に発信していくこと、丁寧に伝えていくことの責任を感じています。

2月8日、本照寺でも数年ぶりに大雪が降りました。そのときのできごとを少し書いてみたいと思います。

先日は、近年まれに見る大雪でした。翌朝もマイナス8℃と冷え込み、皆さまも大変だったのではないのでしょうか。本堂でもマイナス1.8℃を記録しました。

### 水道管破裂が3か所も

翌朝の冷え込みがこたえたようです。大雪の翌日は、水屋の水道が1か所、薪ボイラー関連の配管が2か所、合わせて3か所も凍結による破裂で漏水してしまいました。幸い元栓を締めることで大きな漏水は防げ、仕事への影響もほぼありませんでした。

夕方まで水が出ず、ただ、水道管が凍り、住居

### 大雪の思い出 ー水道管との格闘ー

の方は夕方4時頃まで水が使えませんでした。蛇口をひねっても水が出ないというのは、不便なものです。お世話になっている業者さんが駆けつけてくださり、応急対応で事なきを得ましたが、いつも当たり前にあるものや、困ったときに助けてくれる人のありがたさが身に染み入りました。

ふだんは忘れがちな気持ちや思い出させてもらい、ありがたきかけをいただいたと感じています。できれば万全の備えをしておきたいのですが、自然の力の前ではなかなか思うようにいきません。毎回、勉強の連続です。皆さまのところでは、大事はなかったでしょうか。季節の変わり目の折、体調を崩されませんようお過ごしください。

### トラブル対応に追われる

お檀家さんから見ると、本堂はドンと構えており、お寺はいつも静かに見えるかもしれ

### 副住職のコーナー



雪が積もった本照寺駐車場

### 朝のうた

#### 共感

東京都世田谷区 笹川 勇 47

(平成28年「だより」から再登場)

ヒイヒイ言いながら山登りをしている時、同じようにヒイヒイ言っている人に「頑張りましょう」と声をかけるより「キツイですね」と弱音を吐いたほうが

大きな笑顔が返ってくる共感に励まされ、人に励まされることが出来る。(入院中の患者さんに慎むべき言葉。それは「頑張り」・「住職記」)

### 私の伸び代

神戸市西区 足達三好 77

背は嫌が上にも加齢によって縮む新しいことへの

挑戦意欲も能力も衰える一方の私の中に伸び代は見いだせないでもよくよく見直すと伸び代が一つだけあった心だ。優しさと思いやりの心だけは私の中でまだ進化を遂げようとしている

### 助詞

さいたま市南区 宮澤由季 39

元彼からのメールを見返していたら「君に会いたい」と「君と会いたい」を使い分けていることに今頃気が付いた。会えないときは「に」約束できたときは「と」大雑把でガサツな人とはばかり思っていたのに今も私に会いたくない私は今「君」に「会いたい」 (産経新聞)

## 初詣(月初めの寺修行)

元日の午後2時から、毎月行っている「月初めの寺修行」を「初詣」として打ち出し、20名を超える方が参加されました。全く初めての方が1名参加してくださった、わざわざポスターを作った苦勞が少しだけ報われたなあという気持ちです。

内容は、①体操、②読経・瞑想、③法話の三本立て。ゆったりと体を伸ばした後に、お経を唱えて、皆さま気持ちのよい一年のスタートを切れたのではないのでしょうか。年初に自分の生き方を考え直すきっかけになればと、法話は「若い」をテーマに話しました。年を重ねることの現実に触れながら、「根本的な仏教の立場か

らば、若いも生きること苦である」という教を身近な笑いとともにも共有できたのではないかと思います。

月初めの寺修行は毎月1日9時から行っていますので、皆さま是非お参りください。 (文責 副住職 須藤貴裕)



初詣として行った月初めの修行



祈願法要を静かに見守る参拝者



今年で88年目を迎える仏壇仏具の河内屋です。「本照寺だより」を「持参のお客様に特別割引をさせていただきます。」

有限会社 河内屋  
Tel 046-221-0269

お仏壇の 河内屋

◆3月の春彼岸に、「花美」さんが墓前のお花をご用意してくださいませ。(3月17日から23日まで)



ご埋葬 おまかせください  
埋葬料 11,000円  
字彫代 38,000円

お墓のすべてご相談ください  
●花立交換 ●メジ修理  
●砂利交換 ●耐震化...

本照寺様出入り石材店  
株式会社イジックス  
0120-011140

「ヨーロッパでは他人を気にして行動を慎む文化に馴染みがないです」



日本人は優しさと思いやりに溢れてる



ヨーロッパでは他人を気にして行動を慎む文化に馴染みがないです



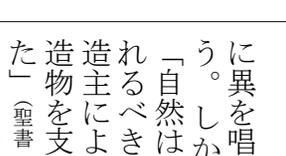
他人をそんなに気にしてしんどくないの？



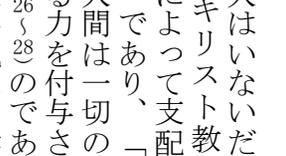
自分の気持ちは1番大切！



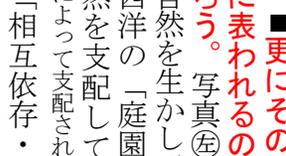
(ドイツでは)自分の気持ちは1番大切！



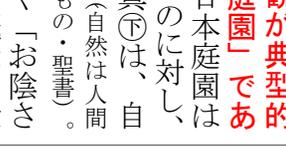
色々な国へ行ったけど日本のような国は初めてです



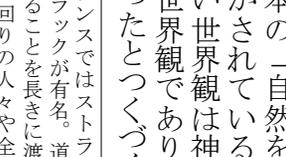
色々な国へ行ったけど日本のような国は初めてです



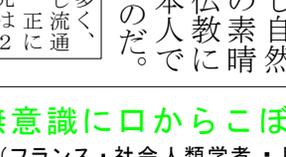
色々な国へ行ったけど日本のような国は初めてです



色々な国へ行ったけど日本のような国は初めてです



色々な国へ行ったけど日本のような国は初めてです



色々な国へ行ったけど日本のような国は初めてです

右の写真はドイツ人夫婦に「日本観光に来てどう思いましたか？」との質問に対する返答であり、他のほとんどの外国人が同様の感想を語る、日本は世界でも珍しい国のようだ。では、こういった日本人を育てる環境的土壌とは一体？

右写真のように、日本人ユーチューバーが日本観光に来た外国人に様々なインタビューをする映像が多数ある中で、次のフランス人女性の返答に驚かされる。

キリスト教と仏教の違い

以下は108号に書いた文章を加筆訂正したものです

次のジョンの言葉は何度も書いたイギリス出身、元ビートルズのジョン・レノンが言う。「世界で最も美しい言葉、そ

「自然との共生」自然を生かし 自然に生かされている

これは日本語の『お陰さま』である」と。

お陰さまに近い英語はサンキューだが、サンキューは直接的な物のやり取り、即ちプレゼントをもらったとか、肩を揉んでもらったとか。

以下にその答えを記します。聖書に次の言葉が

「全ての獣と空のすべての鳥は、地を這うすべてのものと海のすべての魚と共に、動いて命あるものは、すべてあなたたちの食料とするがよい。

全ての動物は人間の食料

以下の108号から再登場。食前の挨拶、「いただきます」は英語に直訳できません。命を「いただきます」ので、英語にするには命、お米、野菜、肉、魚などの英単語を並べるとなると、因みにアメリカでは「さあ食べよう」か、無言で食べ始めるようです。なぜ戴く命に感謝しないのか？

私はいくらも全部のものを青草と同じように、あなたたちに与える」と。

聖書・第9章2〜3節



「共生と支配」・世界観の違いが庭園に表われる

対してお陰さまは直接的なやり取りは無い。街で久しぶりに友人に会って「いや、久しぶり。皆さんお元気ですか？」「ええ、お陰さまで」なのだ。近いニュアンスの「生かされている」も直訳できる英語は無い。日本人は「大自然に育まれ生かされている」との発言

全世界を歩いた故・曾野綾子史がある本に書いていた。「外国から東京に戻り、世界一の大都市東京が、なぜこれほど静かなのかと考へたら、人が皆静かで車のクラクションも鳴っていないのだ」と。

冒頭・写真のドイツ人夫婦の日本人に対する感想も、実は宗教的な世界観の相違にあると思われる。日本を訪れた多くの外国人が同様に感じることは「日本人は何て礼儀正しく優しいの？」「並んで電車に乗る！」「レストランでのおもてなし！」「何でも全て揃っているコンビニ！」「トイレが有り得なく清潔で先進！」「どこも整

「ごめんなさい」「ありがとう」「お先にどうぞ」「お陰さまで」。こうした言葉が無意識に口からこぼれる日本社会。これはまさに「文明の極致」である。クラウド・レヴィ・ストロース (フランス・社会人類学者・民俗学者)

「ごめんなさい」「ありがとう」「お先にどうぞ」「お陰さまで」。こうした言葉が無意識に口からこぼれる日本社会。これはまさに「文明の極致」である。クラウド・レヴィ・ストロース (フランス・社会人類学者・民俗学者)

「ごめんなさい」「ありがとう」「お先にどうぞ」「お陰さまで」。こうした言葉が無意識に口からこぼれる日本社会。これはまさに「文明の極致」である。クラウド・レヴィ・ストロース (フランス・社会人類学者・民俗学者)

「ごめんなさい」「ありがとう」「お先にどうぞ」「お陰さまで」。こうした言葉が無意識に口からこぼれる日本社会。これはまさに「文明の極致」である。クラウド・レヴィ・ストロース (フランス・社会人類学者・民俗学者)



加瀬英明の著書「日本人の精神性」

「左記写真は靖国神社でのジョンとヨーコ。前文章は左記の本から転載。加瀬英明・かせひであき・オノ・ヨーコのいと。令和4年85歳没」

以下 加瀬英明著 「母方のいとこ、オノ・ヨーコ」が「ジョン・レノン」の夫が「ジョン・レノン」だったから私とジョンは親しくなった。ジョンは日本の心のよき理解者であり限りなく優しい人だった。私はこれほどまでに優しい心を持った人と親しくしたことがない。ジョンは1971年に、有名な「イマジジン」という歌を発表した。詞は……

日本人は宗教に対しておおらかに寛大だが、キリスト教徒の中には病的な思ひ込み、癡性(激しやすすい氣質)な人が珍しくない。私は「イマジジン」が神道や仏教の世界を詠っているに違いないと思つた。(イスラム教の人々がイギリス…などに移民として多く流入しているが、癡性な人々はキリスト教の比ではなく有り得ない程。住職記) ジョンとヨーコは靖国神社、さらに伊勢神宮や様々な寺院も参拝している。ヨーコがジョンを説いて、連れて行ったのだった。私が日本文化について講演をした時に、ジョンとヨーコが靖国神社を参拝したことを述べたところ、のちに聴講者から電話があった。「ほんとうですか？」と尋ねられたので、「2人が社頭で撮った写真があります」と、答えた。